



に慣れたまなざしをみずみずしくさ
せる恵みの雨ともなっていることに

気がついた。雨の日に傘をさして園
庭へ出て遊ぶ子もあるし、あらため

『サザエさん』では、カツオ君か

ワカメちゃんが駅前で雨の日に、会
社帰りのお父さんを待っている。自

分の傘のほかに、もう一本のこうも
り傘。傘をもつて人を迎えて行くな
どという手間のかかる行為が、なん

となく懐かしい。今なら、急に雨に
降られたときは、コンビニなどで安
いビニール傘を買つてしまえる。幼

稚園の頃、傘と長靴をもつて迎えに
きてもらった記憶がある。普段は友
達同士で帰るのに、お母さんと帰れ
る。いつべんに特別な日になつた。

特集「雨の日の保育」を読んだ。
やはり雨はついつい悪者になりやす
いようだが、一方で日常通常の保育

て屋内の落ち着いた雰囲気を味わい
なおすような子もいる。雨の日、人
は包まれる経験をする。雨だれとい

う透明のカーテンに包まれ、また雨
粒のぽつぽつと傘にあたる音は個人
的な世界をつくりだしてくれる。屋
外にいても、部屋の中でも、子ども
は包まれている感じにひたる。子ど
もが育つ上で庇護されている感覺を

もつことは重要だといわれる。庇
護、すなわちひさしの中で待ち守ら
ることである。雨の日の雰囲気
は、包まれ庇護される自分自身に出
会いやすいのかもしれない。

* 本誌へのご感想や投稿希望などは
youjimail@yahoo.co.jpまで。（浜口）

幼児の教育

第一〇五巻 第六号

(一〇〇六年六月号)

定価五五〇円（本体五四四円）

発行 平成十八年六月一日

編集兼発行人 浜 口 順 子

〒112-8620 東京都文京区大塚二丁目

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒113-8611 東京都文京区本駒込

発売所

六一一四一九

☎ 〇三一五三九五六六二三（営業）

☎ 〇三一五三九五十六〇四（編集）
振替 〇〇一九〇一二一九六四〇

☆ 本誌の購読のご注文は発売所フレ
ベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。